



追加型投信 / 海外 / 債券

三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)

【愛称:カンガルー・ジャンプ】

3つの魅力を兼ね備えたオーストラリアハイインカム債券

販売用資料 / データ基準日: 2016年3月31日

平素は「三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

日銀がマイナス金利政策を導入し、足下で日本国内における国債等の金利は急低下しています。こうした状況の中、オーストラリアハイインカム債券の利回りは他資産と比較すると概ね高い水準であり、投資対象としての魅力は高まっていると考えられます。

そこで、オーストラリアハイインカム債券の3つの魅力についてのレポートを作成いたしましたので、ご参考にさせていただきますと幸いです。

オーストラリアハイインカム債券*の

3つの魅力

1 安定的な経済成長

- アジア経済の拡大によるオーストラリアへの旅行者の増加
- 政策が後押しする、オーストラリア経済の内需拡大に期待

2 健全性の高い財務

- オーストラリア企業は過去と比較して健全な財務体質となっている
- 金融システムは世界的にも評価が高く、高格付けとなっている

3 利回り面におけるオーストラリアハイインカム債券の魅力

- 主要債券より魅力的なオーストラリア社債の利回り水準

※「オーストラリアハイインカム債券」とは当ファンドが主たる投資対象とするオーストラリアの普通社債およびハイブリッド証券のことを指します。

オーストラリアハイインカム債券の インカム収入と値上がり益に期待

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

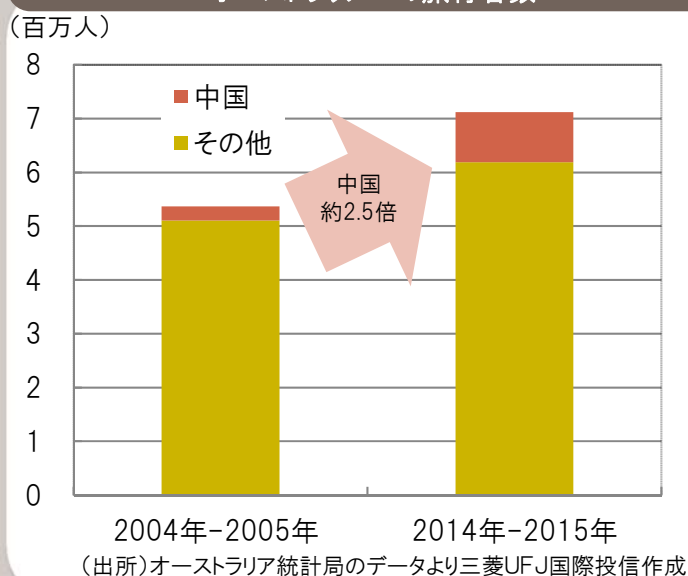
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

1 安定的な経済成長

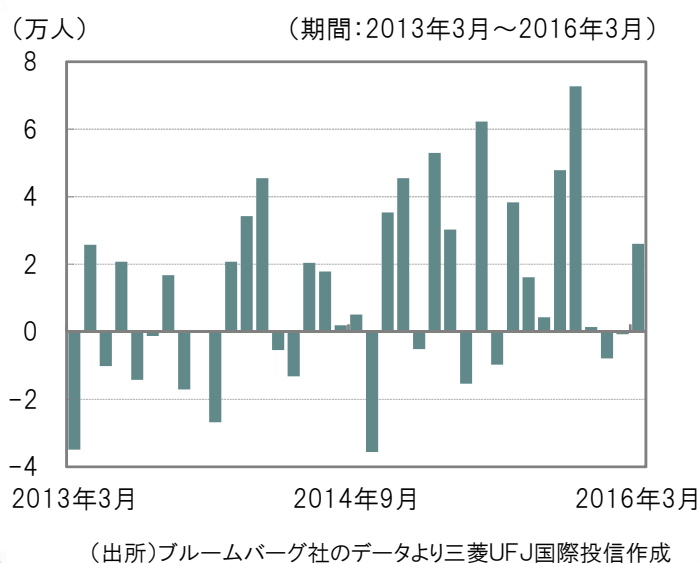
内需の活性化

- 近年アジア経済の成長が続く中、中国を中心とした海外からオーストラリアへの旅行者の増加は内需の活性化に繋がり、足下で雇用者数が堅調に推移するなどオーストラリア経済を押し上げています。今後も中長期的にこうした状況が継続し、同国経済は拡大していくことが期待されます。
- オーストラリアのターンブル首相は内需拡大について言及しており、今後内需を後押しするような政策が打ち出されることも期待されます。こうした政策の後押しを受け、オーストラリア経済はさらに拡大することが期待されます。

オーストラリアへの旅行者数



オーストラリアの新規雇用者数(前月比)



底堅く推移することが見込まれる為替動向

豪ドル(対円)は底堅く推移すると見込んでいます。

足下、オーストラリア経済には一連の金融緩和によって内需に改善の兆しがみられています。中国の製造業景況感が回復しつつあり鉄鉱石価格の反発が続いていることなども追い風となり改善は継続するとみられています。

一方、日銀が強固な金融緩和姿勢を維持していることなどから、日本とオーストラリアの金利差が下支えし、豪ドルは底堅く推移するとみられています。

豪ドル(対円)の推移



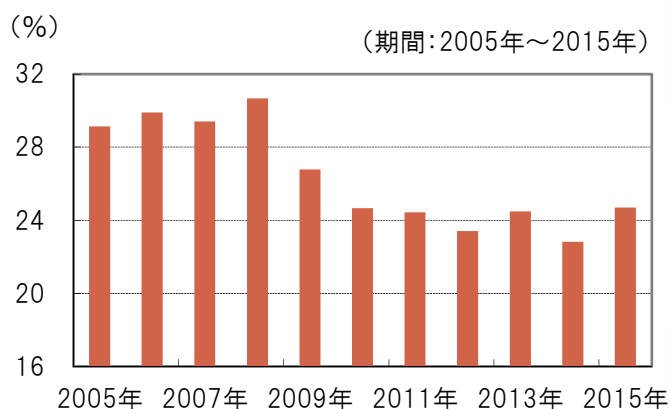
■上記は、過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

2 健全性の高い財務

- リーマンショック後30%超に達したオーストラリア企業の債務比率は、在庫調整や消費者マインドが改善した結果、大幅に債務比率を低下させることに成功し、健全な財務体質を維持しています。
- オーストラリアの金融機関は堅固な規制とガバナンスの枠組みの下、高い財務の健全性を有し、相対的に高い格付が付与されています。

オーストラリア企業の総債務／総資産比率の推移



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

各国金融機関の格付け

(2016年3月末基準)

企業名	国名	格付け
オーストラリア・コモンウェルス銀行	オーストラリア	AA-
ウェストバック銀行	オーストラリア	AA-
ANZ銀行グループ	オーストラリア	AA-
ナショナル・オーストラリア銀行	オーストラリア	AA
ウェルズ・ファーゴ	米国	AA-
JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	米国	A+
HSBCホールディングス	英国	AA-
BNPパリバ	フランス	A+
中国工商银行	中国	A
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	A+

※格付けは、2016年3月末時点のS&P(スタンダード・アンド・プアーズ)社、Moody's(ムーディーズ・インベスターズ・サービス)社、Fitch(フィッチ・レーティングス)社の3社のうち、最も高い格付けを採用し、S&P社の表示方法で記載しています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

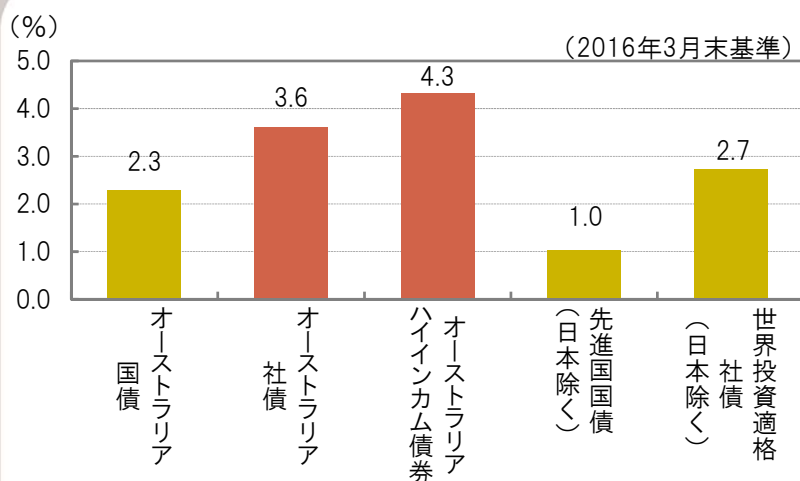
3 利回り面におけるオーストラリアハイインカム債券の魅力

オーストラリアの社債は先進国の国債などと比較した場合、相対的に高い利回りとなっています。

・オーストラリアハイインカム債券の利回りは、ファンドの最終利回りを使用しており、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)のものです。個別債券ごとに、繰上償還条項が付与されている銘柄は原則として直近の繰上償還予定日、それ以外は償還日を使用して計算しています。

・最終利回りとは、個別債券ごとの複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

各資産の利回り比較



(出所)AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド、ブルームバーグ社、パークレイズ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 上記は、投資対象の発行体の一例を示すために掲載したものであり、実際に当該銘柄に投資を行うことを保証するものではありません。また、特定の銘柄の推奨あるいは証券売買の勧誘を目的としたものではありません。■ 上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用した指数について】をご覧ください。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

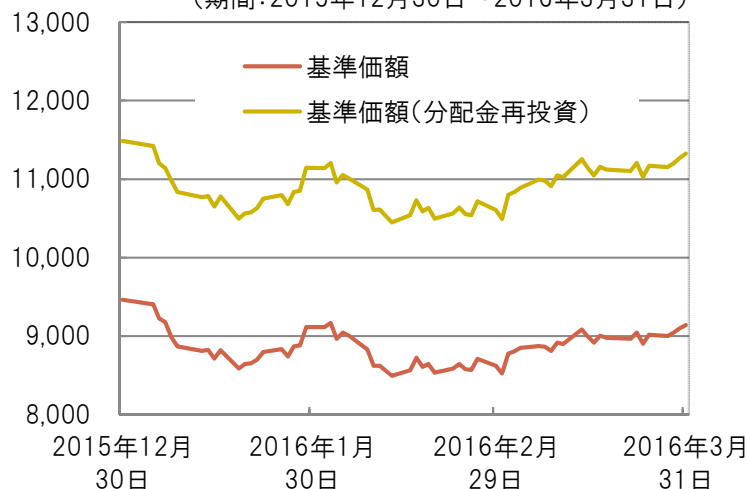
基準価額の推移(設定来)

(期間:2012年12月7日(設定日)~2016年3月31日)



基準価額の推移(年初来)

(期間:2015年12月30日~2016年3月31日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

年初来の投資環境と運用状況

年初来のオーストラリア債券市況は期を通して横ばいの動きとなりました。2016年1月から2月中旬にかけては、原油等国際商品市況の下落や中国経済に対する先行き不透明感の高まり等を受けて、オーストラリアの金利は低下(債券価格は上昇)しました。その後3月末にかけては、3月上旬に発表されたオーストラリアの2015年10-12月期のGDP(国内総生産)が市場予想を上回ったことや国際商品市況が反発したこと等を受けて、オーストラリアの金利は上昇(債券価格は下落)しました。

なお、豪ドル(対円)は、2016年1月から2月中旬にかけては、国際商品市況の下落や中国経済に対する先行き不透明感の高まり等を背景に投資家のリスク回避的な動きが強まったことから下落しました。その後3月末にかけては、国際商品市況が反発したことやオーストラリアの2015年10-12月期のGDPが市場予想を上回ったこと等を背景に、追加利下げ観測が後退したことから上昇傾向となったものの、年初来で下落となりました。

こうした環境下、当ファンドにおいてはデュレーションについては機動的に対応し、2月末にかけては、短期的には中国等新興国経済の低迷がオーストラリアの金利の低下圧力となるとの見方から、オーストラリア社債市場平均と比較してやや長めの水準としましたが、3月上旬以降は、オーストラリアの金利が低下したこと等から概ねオーストラリア社債市場平均並みの水準としました。また相対的に投資魅力が高いと考えられるハイブリッド証券を組入れる運用を継続しました。このような運用を行った結果、豪ドルが対円で下落したこと等がマイナス要因となったものの、債券利子収入を享受したことがプラス要因となり基準価額(分配金再投資)は底堅く推移しました。

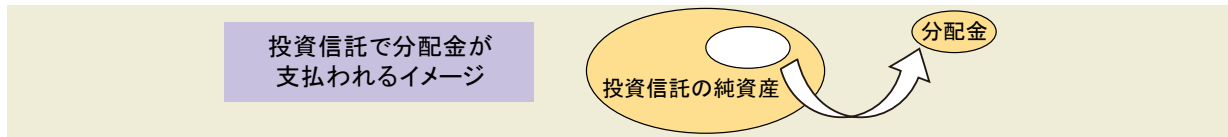
今後の運用方針

世界経済は、短期的には中国などアジア経済の先行き不透明感から懸念が残るものの、中長期的には米国主導で緩やかながらも回復が続くと予想しています。欧州では一部の経済指標に改善の兆しが見られます。こうした環境は、引き続きオーストラリア企業のファンダメンタルズにとってもプラスに働くと考えます。オーストラリア経済においては、鉱業部門を中心とした投資ブーム終了後の景気動向が注目されるものの、個人消費などの内需が堅調に推移していることは、オーストラリア社債市況のサポート要因になると見ています。クレジットスプレッド(国債との利回り格差)は、オーストラリア企業の良好なファンダメンタルズを背景に、さらに縮小する(社債価格の上昇要因)余地があると見ています。また、オーストラリア社債市場において、引き続き投資家の旺盛な需要がみられることもオーストラリア社債市況にとってのプラス要因になると考えます。したがって、投資においては、米国、オーストラリアの景気動向や金融政策等、オーストラリア社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、慎重な銘柄選択を行っていく方針です。

■上記は、過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

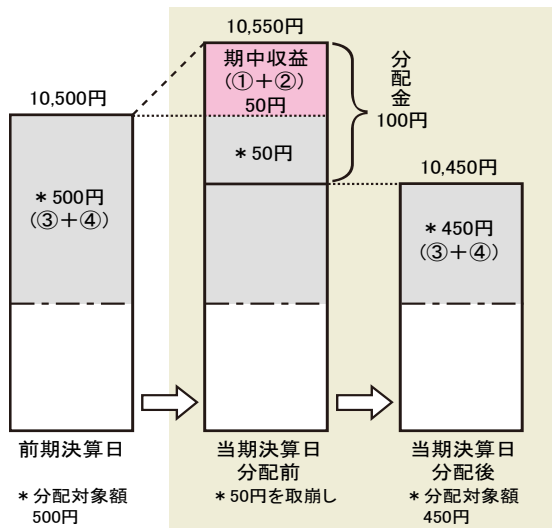


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

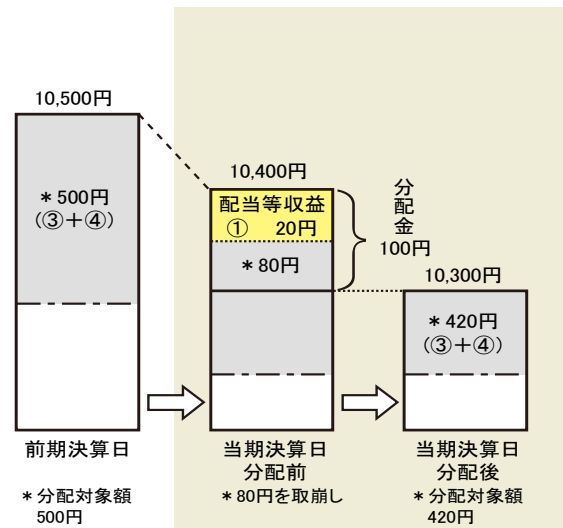
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



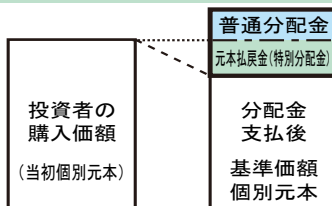
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

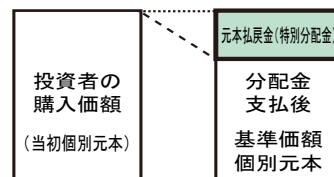
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】
ファンドの目的・特色
■ファンドの目的

オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等が実質的な主要投資対象です。
- ・劣後債、優先証券(以下、「ハイブリッド証券」という場合があります。)は、債券と株式の両方の特性を有しており、上場または非上場となっています。ハイブリッド証券は一般に利息(配当)が定められており、満期時や繰上償還時に額面で償還される等、債券に似た性質を有しています。同一発行体が発行している普通社債とハイブリッド証券を比べると、ハイブリッド証券の方が普通社債よりも利回りが高く、また期待リターンも高くなります。その一方で、リスクは普通社債に比べてハイブリッド証券の方が高くなり、また弁済順位は普通社債に比べて低いという特徴もあります。また一部のハイブリッド証券については償還時に株式に転換されるものもあります。
- ・債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。
- ・債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。
- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・運用は主にAMP オーストラリア・ハインカム債券マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

<主な投資制限>

- ・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

<分配方針>

- ・毎月の決算時(7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク
■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

市場リスク
(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、ファンドが組み入れる劣後債および優先証券等は、一般の公社債と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ国際投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】

投資リスク

劣後債および優先証券等(以下、「ハイブリッド証券」といいます)への投資には次のような特徴があり、市場・信用・流動性の各リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

(弁済の劣後)

一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥った場合、普通社債等の元利金が支払われてもハイブリッド証券は元利金の支払いを受けられないことがあります。また、ハイブリッド証券は、一般的に同一発行体の普通社債と比較して低い格付けが格付機関により付与されています。

(繰上償還の延期・前倒し)

一般的にハイブリッド証券には、繰上償還(コール)条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。繰上償還されることを前提として取引されている証券もあり、これらの証券が市場で予想されていた期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合、また市場で予想されていた期日以前に償還される場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

(利息・配当の繰り延べまたは停止)

利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待される利払いや配当が得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。

(株式等への転換)

一部のハイブリッド証券には、発行体の判断で実質的に株式等に転換する条項が付与されている場合があります。これらの証券が転換される、もしくは転換されると見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

(制度変更等)

将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

ファンドは、格付けの低い投資適格未満の普通社債、劣後債および優先証券等に投資する場合があります。格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	シドニー先物取引所の休業日、シドニーの銀行の休業日、その他シドニーにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2016年の該当日は1月26日、3月25日、3月28日、4月25日、6月13日、8月1日、10月3日、12月26日、12月27日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2022年10月7日まで(2012年12月7日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)【愛称:カンガルー・ジャンプ】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額× 3.24%(税抜 3%) (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは販売会社にご確認ください。
--------	--

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.512%(税抜 年1.4%)
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.24%(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.24%=32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくことになります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入しておりません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。
- 本資料は、当ファンドの投資環境や運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

<お客様専用フリーダイヤル> **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>

